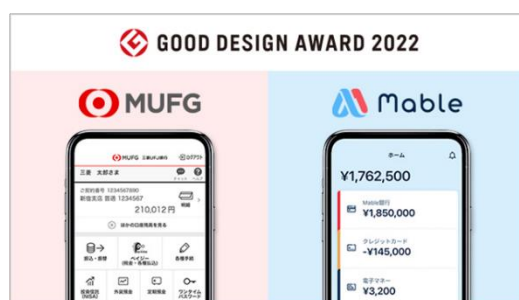


2022年10月7日

株式会社三菱UFJ銀行

## 「三菱UFJダイレクト」及び「Mable」の2022年度グッドデザイン賞の受賞について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下 当行）は、当行の提供するインターネットバンキング「三菱UFJダイレクト」及びお金の自動管理アプリ「Mable（メイブル）」が2022年度グッドデザイン賞<sup>[1]</sup>（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞したことをお知らせいたします。当行のグッドデザイン賞の受賞は初めてとなります。



当行は、社会インフラとしての銀行サービスを時間や場所を問わず、幅広い年齢層やデジタルリテラシーのお客さまにご利用いただき、多様な金融ニーズにお応えできるよう、「三菱UFJダイレクト」の操作性向上や機能拡充を図ってまいりました。こうしたユーザー視点に立ったデザインプロセスに基づく着実な改善の結果、「三菱UFJダイレクト」は品質の高いUI/UX<sup>[2]</sup>が評価され、グッドデザイン賞を受賞いたしました。

「Mable」は、銀行取引に楽しさの要素を加え、リラックスした気持ちでお金と向き合いながら、家計の状況把握から中長期的な資産形成までをサポートする家計管理アプリです。今回、「Mable」は、シンプルで優しいUIと操作性によって金融の難しいというイメージの払拭に成功したことが評価され、グッドデザイン賞を受賞いたしました。

当行では、社会のデジタルシフトが加速するなか、中期経営計画の主要戦略のひとつとしてデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進しています。引き続き、デジタルを活用した利便性の高いサービスを提供していくとともに、UI/UXの更なる向上を図り、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

[1] 2022年度グッドデザイン賞について、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.g-mark.org/>

[2] ユーザーインターフェース（操作性）／ユーザーエクスペリエンス（顧客体験）の略

以上